

中小企業の人材確保・定着支援事業



本会では、様々な要因によって思うように人材を確保できず、厳しい状況にある県内中小企業の人材確保・定着を目的に、合同企業説明会や研修会を開催し支援を行っています。

今年度は、昨年度に続き合同企業説明会を開催するとともに、求職者に対する情報発信力を高めるため、新たにPR動画作成研修を実施しましたのでご紹介します。

合同企業説明会

10月7日、高崎市・Gメッセ群馬において、「群馬で就職！合同企業説明会」を開催した。当初、9月17日の開催を予定していたが、緊急事態宣言期間と重なったため、延期開催となった。

今回の説明会には、県内に本社・事業所を有する58社が参加し、2022年3月卒業予定の大学院、大学、短大、高専、専修学校生等に加えて、卒業後3年以内の既卒者及び若年未就職者など254名(内留学生150名)が来場した。

当日は、求職者が受付開始前から長蛇の列を作るなど、関心の高さがうかがえた。特に、コロナ禍の影響で厳しい環境下での就職活動を余儀なくされている留学生が例年の約5倍来場した。



多くの企業・求職者が集まった

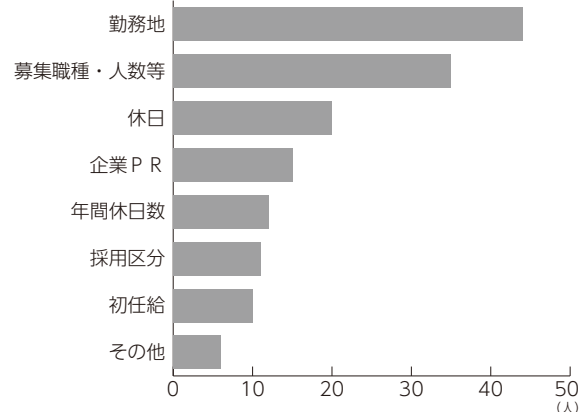
参加した企業からは、「最近では求職者と直接会話する機会が減少したので助かる」「時期的にあまり期待していなかったが、優秀な学生と接触出来たので良かった」などの感想が寄せられた。

また、会場の一画に「カウンセリング(相談)コーナー」を設置し、専門相談員による職業興味検査や就活の悩み等に対してアドバイスも行った。

今回、来場した求職者に対して採用情報で注目している上位3つの項目についてアンケートを実施したところ、「勤務地」「募集職種・人数等」「休日」の注目度合いが高いことが分かった。

【設問】 企業ガイドブックの中で注目した項目はどれですか？(上位3つ以内)

回答者64人



PR動画作成研修

大企業では、コロナ感染拡大をきっかけに、企業の紹介動画の配信やWeb合説などオンラインを活用することで、学生との新たな出会いの場づくりを行っている。

一方、中小企業は、ノウハウ、スタッフ不足からオンライン活用の重要性を認識するも取り組みが進んでいない状況にある。

そこで、本会では、中小企業が有する魅力・価値を企業PR動画で発信する際に必要なノウハウの習得を支援するために、PR動画作成研修会を、本年度初めて実施。

なお、より多くの企業に参加頂けるよう、10月スタートと11月スタートの2コースを設けた。

10月14日、前橋市・群馬県中小企業会館第3会議室において、10月スタートの研修会の第1回目を実施し8名が参加した。

講師は、採用支援や社員の育成・定着支援を行う株式会社プロタゴワークス代表取締役の赤根正太氏と、同社取締役の野尻浩美氏。



講師の赤根氏(左)と野尻氏(右)

はじめに、PR動画を作成するにあたってのポイントを解説した。PRとは、広告と違い口コミ等で第三者にアピールしてもらい企業や商品を有名にしていく手法で、情報の信頼度が高くなるため、採用活動に利用すると効果的であると述べた。

近年は若年層のYouTube利用者が増加していることから、YouTubeを利用したPRが有効であり、情報を視覚的に伝えることで、就職後のミスマッチの防止もできるとメリットを紹介。

また、自社で採用したい人材に響く動画を作成するためには、まず、企業が求める理想の人物像を具体的に追究する「ペルソナ分析」を十分に行う必要があると説明した。



グループワークで意見を交わす参加者達

参加者はグループワークを通し、自社の採用活動での課題や、求める人物像についてお互いの意見交換を活発に交わした。

次回の研修では、自社の強みや魅力を深掘りし、動画撮影のコツや、テーマ設定・シナリオ作りについて学ぶ予定で、研修は全4回。

研修カリキュラム	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> PR動画で企業の魅力を伝えるための「ブランディング」とは 採用における動画活用(自社HPでの活用方法、企業説明会での活用の方法等) 【実践ワーク】 YouTubeアカウントの作り方、動画の目的設定、ターゲットのペルソナ分析
第2回	<ul style="list-style-type: none"> 学生が入社前に知りたい情報 動画撮影のコツ 【実践ワーク】 自社の強み・魅力、動画のテーマ設定、動画のシナリオ作り
第3回	<ul style="list-style-type: none"> 動画編集のコツ 動画投稿を続けるコツと動画視聴者の分析 【実践ワーク】 YouTubeへの動画投稿のやり方
第4回	<ul style="list-style-type: none"> 完成動画発表会 今後の動画作成、投稿の目標設定

人材育成事業

中堅リーダー研修を2年ぶりに開催

本研修は、昨年、コロナ感染症拡大の影響で中止となり、2年ぶりの開催となりました。また、例年は合宿スタイルで実施していましたが、コロナ禍でも参加しやすいように、日帰りスタイル・少人数による班編成へ変更して研修を行いました。

10月10日・11日の2日間、前橋市・前橋問屋センター会館において、中堅リーダー研修を開催した。

本研修は、中堅管理・監督者を対象に、リーダーシップやマネジメントスキルの養成を目的に実施しており、県内企業から28人が参加した。

講師は、経営教育コンサルタントの雨宮利春氏。雨宮氏は、変化が常態となっている昨今、その変化は雇用形態や経営状況などに大きな影響をもたらしている。こうした中、自社と環境へ配慮し、新たな課題を自らマネジメントできる自律型リーダーが求められていると説明



2年ぶりに登壇する雨宮氏

し、そのリーダーの特徴・役割等を解説した。参加者は、4～5人のグループに分かれ、グループワークやロールプレイの体験を通じ、相手のニーズを引き出す「傾聴」やヤル気を引き出す「動機づけ」など、真のリーダーを目指すべく必要なスキルを学んだ。

し、そのリーダーの特徴・役割等を解説した。

参加者は、4～5人のグループに分かれ、グループワークやロールプレイの体験を通じ、相手のニーズを引き出す「傾聴」やヤル気を引き出す「動機づけ」など、真のリーダーを目指すべく必要なスキルを学んだ。



ロールプレイングなど体験型学習が本研修会の特徴

本会の人材育成事業の紹介

①後継者養成・事業承継支援事業（補助率2/3）募集中

経営手法や資質向上、事業承継を円滑に行うためのノウハウ習得に向けた研修会開催を支援
対象：組合青年部

②技術・サービス技能向上支援事業（補助率2/3）募集中

技能・サービス向上を目指し、専門技術・技能習得のための研修会開催を支援

③若手社員リフレッシュ研修（11月2日開催）

社会人としての自覚を促し、自律型人材の育成を目的に研修会を開催
対象：入社3年・30歳未満の若手社員